

ほんとうの声、届けます

石見智子

茨城県・二三・専門学校生

今日、郵便受けに見慣れない文字で、私宛てに手紙が届きました。あなたからでした。初めての手紙、ありがとうございます。

あなたが言うように、私とあなたのやりとりは、いつもメールです。会っていても、本当に伝えたいことがうまく言えない私にとって、メールはともありがたいものでした。だから、手紙の冒頭に、「メールの交換を止めよう」と書かれていたのには、戸惑いました。

私のあなたへの愛に嘘偽りはありません。たとえメールであっても、私はその時間はあなたのことを想って、あなただけにに向けて言葉を綴っています。それだけは信じてください。私はあなたを心の底から愛しているのです。

本当はあなたの目をしっかりと見て、私の言葉と声で伝えたい。でも、あなたの目を見ると、気持ちも頭も真っ白になり、伝えたい言葉はパズルのピースのようにバラバラになってしまふ。そして私はうまく言葉を組み合わせることができなくなつて、話せなく

佳作

なつてしまふのです。ごめんなさい。

でも、今日のあなたからの手紙を読んで、あなたの文字から、気持ち、メールよりも、より私の心に響きました。せつかくあなたが初めてくれた手紙だったのに、たくさん染みを作つてしまいました。

これをポストに投函したら、あなたに会いにいきます。私の言葉と声でちゃんと愛を届けます。だから、ずっと私と繋がっていてください。

愛しています。

*付き合つて半年になる彼から初めての手紙が届いた。いつもやりとりはメール。嬉しくて、返事を書きました。